株式会社LSIメディエンス
INFORMATION
Vol.26-41 H-09
発行　2026年 11月
当案内および過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(https://www.medience.co.jp/)よりPDF形式にてダウンロードできます。

検体検査実施料に係るお知らせ

拝啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和8年10月30日付け厚生労働省保険局医療課長通知「保医発1030第1号」にて、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」(令和8年3月5日保医発0305第6号)の一部が改正され、令和8年11月1日より適用されることになりましたのでご案内いたします。

敬具

記

新規収載項目

点数区分	検査項目名	実施料	判断料	注
D004-2 悪性腫瘍組織検査				
	神経膠腫におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシング)及びBRAF融合遺伝子検査(次世代シーケンシング)	5000	遺伝子・染色体(100)	＊1

[注] 下線部が追加されました。

＊1：(4)　「1」の「ロ」処理が複雑なものとは、次に掲げる遺伝子検査のことをいい、使用目的又は効果として、医薬品の適応を判定するための補助等に用いるものとして薬事承認又は認証を得ている体外診断用医薬品又は医療機器を用いて、次世代シーケンシング等により行う場合に算定できる。

ア～コ　(略)

サ　神経膠腫におけるBRAF遺伝子検査(次世代シーケンシング)及びBRAF融合遺伝子検査(次世代シーケンシング)

LSIメディエンス
A Member of PHC Group
〈本社〉〒174-8555　東京都板橋区志村3-30-1
インフォメーション　TEL. 03-5994-2111
https://www.medience.co.jp/

総合検査案内アプリはこちら
iPhone 用
Android 用

新規収載項目

点数区分	検査項目名	実施料	判断料	注
N002 免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製				
	FOLR1タンパク	2700	病理（130）	＊2

[注] 下線部が追加されました。

＊2：(13)　FOLR1タンパクは、再発卵巣癌患者に対して、抗葉酸受容体α抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、HQリンカーを用いた免疫組織化学染色法により病理標本作製を行った場合に、本区分の「6」ALK融合タンパクの所定点数を準用して算定する。ただし、再発リスクが高い場合や既存治療で十分な効果が得られない可能性が高い場合には、関連学会の定めるガイダンスに沿って実施した場合に限り、初発卵巣癌患者に対しても算定できるが、この場合においては、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。なお、当該薬剤の投与方針の決定までの間の1回に限り算定できる。

【弊社での実施状況】現在受託準備中です。受託開始の際は改めてご案内差し上げます。

算定方法の一部改正項目

点数区分	検査項目名	実施料	判断料	注
D006-19 がんゲノムプロファイリング検査				
	がんゲノムプロファイリング検査	44000	遺伝子・染色体（100）	＊3

[注] 下線部が追加されました。

＊3：(1)　固形腫瘍を対象とする場合

ア～オ　（略）

カ　「注2」に係る規定は、固形腫瘍の腫瘍細胞又は血液を検体とし、100以上のがん関連遺伝子の変異等を検出するがんゲノムプロファイリング検査に用いる医療機器等として薬事承認又は認証を得ている次世代シーケンシングを用いて、次に掲げる抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的とした検査を実施した際に併せて取得している包括的なゲノムプロファイルの結果を、標準治療後（終了が見込まれる場合も含む。）にエキスパートパネルで検討を行った上で、治療方針等について文書を用いて患者に説明することにより、「B011-5」に掲げるがんゲノムプロファイリング評価提供料を算定する場合に適用する。なお、この場合には(1)のイからオまでを満たすこと。この際、診療報酬明細書の摘要欄に、包括的なゲノムプロファイルの結果を併せて取得した検査の実施日を記載すること。

①～⑬　（略）

⑭　神経膠腫におけるBRAF遺伝子検査及びBRAF融合遺伝子検査